

App Bridge Windows Agent
サポートリスト

2025-04-09

目次

1. 本書の役割	1
2. サポート OS とエディション	2
3. サポート言語	2
4. Agent 稼働前提条件	3
4.1 App Bridge Monitor	3
4.2 App Bridge Kicker	3
4.3 App Bridge Transporter	4
4.4 OS のライフサイクル	4
5. Azure SDK	5
6. リリース済み Windows Agent のサポートについて	5
7. 今後リリースされる Windows Agent の稼働前提条件	5
8. サポート切れ環境の取り扱い	6
8.1 問合せ、サポート	6
8.2 新規インストール、バージョンアップ	6
8.3 動作保障	6
8.4 App Bridge センタとの通信	6

1. 本書の役割

本書は、App Bridge Monitor、App Bridge Kicker、App Bridge Transporter が提供する Windows Agent（以下、App Bridge Windows Agent と称す）の前提条件、サポート対象を示すものです。

2. サポート OS とエディション

App Bridge Windows Agent のサポート OS、エディションは以下のとおりです。

OS	エディション	備考
Windows Server 2016	Windows Server 2016 Standard	
	Windows Server 2016 Datacenter	
	Windows Server 2016 Essentials	
Windows Server 2019	Windows Server 2019 Standard	
	Windows Server 2019 Datacenter	
	Windows Server 2019 Essentials	
Windows Server 2022	Windows Server 2022 Standard	
	Windows Server 2022 Datacenter	
Windows Server 2025	Windows Server 2025 Standard	
	Windows Server 2025 Datacenter	

3. サポート言語

日本語、英語の環境をサポートします。但し、表示されるスクリプトは日本語となります。

4. Agent 稼働前提条件

4.1 App Bridge Monitor

App Bridge Monitor Windows Agent を動作させるには、.NET Framework が必要です。サポートされる OS と .NET Framework の組合せは以下のとおりであり、サポート終了は、マイクロソフト社のライフサイクルに従います。

OS	.NET Framework ランタイム	マイクロソフト社サポート終了
Windows Server 2016	.NET Framework 4.6.2	OS のライフサイクルが適用される
	.NET Framework 4.7	
	.NET Framework 4.7.1	
	.NET Framework 4.7.2	
	.NET Framework 4.8	
Windows Server 2019	.NET Framework 4.7.2	OS のライフサイクルが適用される
	.NET Framework 4.8	
Windows Server 2022	.NET Framework 4.8	OS のライフサイクルが適用される
	.NET Framework 4.8.1	
Windows Server 2025	.NET Framework 4.8.1	OS のライフサイクルが適用される

4.2 App Bridge Kicker

App Bridge Kicker Windows Agent を動作させるには、.NET Framework が必要です。サポートされる OS と .NET Framework の組合せは以下のとおりであり、サポート終了は、マイクロソフト社のライフサイクルに従います。

OS	.NET Framework ランタイム	マイクロソフト社サポート終了
Windows Server 2016	.NET Framework 4.6.2	OS のライフサイクルが適用される
	.NET Framework 4.7	
	.NET Framework 4.7.1	
	.NET Framework 4.7.2	
	.NET Framework 4.8	
Windows Server 2019	.NET Framework 4.7.2	OS のライフサイクルが適用される
	.NET Framework 4.8	
Windows Server 2022	.NET Framework 4.8	OS のライフサイクルが適用される
	.NET Framework 4.8.1	
Windows Server 2025	.NET Framework 4.8.1	OS のライフサイクルが適用される

4.3 App Bridge Transporter

App Bridge Transporter Windows Agent を動作させるには、.NET Framework が必要です。サポートされる OS と .NET Framework の組合せは以下のとおりであり、サポート終了は、マイクロソフト社のライフサイクルに従います。

OS	.NET Framework ランタイム	マイクロソフト社サポート終了
Windows Server 2016	.NET Framework 4.6.2	OS のライフサイクルが適用される
	.NET Framework 4.7	
	.NET Framework 4.7.1	
	.NET Framework 4.7.2	
	.NET Framework 4.8	
Windows Server 2019	.NET Framework 4.7.2	OS のライフサイクルが適用される
	.NET Framework 4.8	
Windows Server 2022	.NET Framework 4.8	OS のライフサイクルが適用される
	.NET Framework 4.8.1	
Windows Server 2025	.NET Framework 4.8.1	OS のライフサイクルが適用される

4.4 OS のライフサイクル

OS のライフサイクルは以下のとおりです。

OS	マイクロソフト社サポート終了
Windows Server 2016	2027 年 1 月 12 日
Windows Server 2019	2029 年 1 月 9 日
Windows Server 2022	2031 年 10 月 14 日
Windows Server 2025	2034 年 10 月 10 日

5. Azure SDK

App Bridge Monitor Windows Agent は、Microsoft Azure Cloud Services の開発環境として、以下の Microsoft Azure SDK for .NET をサポートしています。

Agent バージョン	対象とする Azure SDK バージョン	備考
1. 19. 0	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 18. 2	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 18. 1	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 18. 0	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 17. 1	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 16. 0	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 15. 0	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 14. 0	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 13. 0	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 12. 0	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 11. 2	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 11. 0	1. 8、2. 0～2. 9、3. 0	
1. 9. 1	1. 8、2. 0～2. 9	
1. 9. 0	1. 8、2. 0～2. 9	
1. 7. 1	1. 8、2. 0～2. 9	
1. 7. 0	1. 8、2. 0～2. 9	
1. 6. 1	1. 8、2. 0、2. 1	

6. リリース済み Windows Agent のサポートについて

リリース済みの Windows Agent については、マイクロソフト社がサポートしている環境で動作していることを前提に、全バージョンの問合せを受け付けます。

但し、バグ対応については、最新バージョンのみに適用される場合があります。予めご了承下さい。

7. 今後リリースされる Windows Agent の稼働前提条件

今後リリースされる Windows Agent の稼働前提条件は、リリース時点でマイクロソフト社がサポートとする OS、.NET Framework バージョンの組合せから選択されます。

8. サポート切れ環境の取り扱い

過去にサポート対象となっていたが現時点でサポート対象外となっている OS、.NET Framework（以降、サポート切れ環境と称す）の取り扱いについて、以下に示します。

8.1 問合せ、サポート

導入時点でサポート対象であった Agent に関しては、サポート切れ環境であっても問合せを受け付けます。但し、サポート切れ環境については回答できないケースも発生しますので、ご承知おき下さい。

また、バグ対応については、最新バージョンのみに適用される場合があります。予めご了承ください。

8.2 新規インストール、バージョンアップ

サポート切れ環境への新規インストール、バージョンアップはサポート致しません。

8.3 動作保障

サポート切れ環境での Agent 動作は、保障できない場合があります。ご承知おき下さい。

8.4 App Bridge センタとの通信

サポート切れ環境については、App Bridge センタの環境変更（セキュリティ強化）等により、App Bridge センタと通信できなくなる可能性があります。

App Bridge センタの通信環境を変更する場合は、事前に確認環境を準備し、アナウンス致します。確認環境を使用し、通信動作を確認して下さい。